

木津川市社会教育委員会 開催結果要旨

会議名	令和6年度 第6回 木津川市社会教育委員会			
日時	令和7年2月27日(木) 13時30分～15時50分まで		場所	市役所 庁舎第2北別館
出席者	委員	■高原 和子 ■木村 勝 ■三上 かず子 ■花田 康子 ■三谷 博之 ■橋本 京子 □井上 若菜 ■渡邊 素子 ■藤澤 正典 ■今井 清美 ■石田 康二 ■芝原 昌代 ■新谷 涼太朗 ■中川 翱郎		
	事務局	※ □:欠席者		
1. 開会 高原委員長から開会にあたり挨拶があった。				
2. 議題 ①山城地方社会教育委員連絡協議会研修会の報告について 1/17に開催された研修会について、出席された委員を代表して、分科会毎に3名の委員から報告があった。 ◎第1分科会 三谷委員 八幡市の社会教育委員の活動について ・事例発表の内容は、青少年補導委員会(サマーキャンプやドッジボール大会等)、スポーツ協会(キッズ体操教室)、文化協会(子ども文化祭)等、子どもを対象にした活動についての発表であった。 ・委員構成については、学識経験者、学校関係者、市民公募の他、青少年補導委員会、スポーツ協会、文化協会等の団体から選出されている委員が多い。 ・様々な団体から選出されていることにより、いろんな事業がやりやすい。 ◎第2分科会 石田委員 城陽市における社会教育施設の現況と課題について ・城陽市における社会教育の拠点となっているコミュニティセンターの運営についての現状と課題がテーマであった。 ・コミュニティセンターについては、中学校区ごとに1箇所設置されており、利点としては、地域の課題に取り組みやすい、市民の声が聞きやすいとのことであった。 ・運営については、地域団体等で作るボランティアで運営委員会(10名)として、市の委託を受け、事業の企画立案を行い、その下部組織として四つの専門委員会(40名)を設置して実施する方式で行われている。 ・事業のマンネリ化、運営委員のなり手不足、高齢化問題等が課題のようである。 ◎第3分科会 木村副委員長 宇治田原町における地域学校協働活動について ・4つの取り組みについて発表があった。(あいさつ声掛け運動、放課後子ども教室、各種委員会への出席及び取り組みへの参加、教育長への答申の作成)				

- ・令和3年、4年、5年の3年間で一つ教育委員会からテーマを受けて答申をされている。
- ・委員については、4年経てば半分の委員が交代されるようである。
- ・グループ討議においては、南山城村では地域学校協働本部に6年生の児童がメンバーとして入り、生の声が聞けて良いという話があった。

②部会(計画実践部会・施設運営部会)からの報告について

計画実践部会については、5回目の部会を開催し、協議内容について、部長(木村副委員長)から報告があった。※施設運営部会については、1月は開催していない。

○計画実践部会 1月22日(水) 庁舎北別館にて開催

今年度においては、主に放課後子ども教室と地域学校協働本部について、協議をしている。

放課後子ども教室については、夏場に中止もあったが、概ね予定通り進んでいるようである。

新しく開設予定の恭仁小学校については、令和8年度の開設に向け進めていくようである。

木津小学校では、令和4年からコロナと校舎の工事により開催していなかったが、部会の日に特別企画として「きっづ広場」が開催されていたため、部会後、見学に行ったところテニピン教室をされていた。

地域学校協働本部については、コミュニティスクールを令和8年度には全小中学校への開設を目指すということであるが、今の進み具合では厳しいように感じている。

③令和7年度社会教育の重点(案)について

資料を基に事務局より令和7年度社会教育の重点(案)について、説明を行った。

(委員)

第2次生涯学習推進計画では、年度ごとにPDCAに基づく進行管理をするということを盛り込み、この重点の最後にも記載しているが、令和6年度における社会教育の重点の達成状況の評価はどのようにになっているのか教えていただきたい。

(事務局)

昨年策定した計画の中では、具体的にどういった方法で評価をするかというのは定めていない。計画策定後、評価に向けて検討は進めている。社会教育の充実に向けた取り組みというのは、社会教育課だけで行っている訳ではない。市役所内においても人権推進課や高齢介護課等、社会教育に繋がるような事業を行っている部署もあり、それを把握するために現在、庁内において照会をかけているところである。その調査の結果を評価のスタートラインとして、皆さんにお示しさせていただき、後追いで評価をしていく予定をしている。進捗はしているのでご理解いただきたい。

(委員)

以前にいただいた記憶があるが、教育委員会において、社会教育、学校教育を含めた各年度の点検評価の報告書があると思う。そのような資料があれば分かりやすいのでまたお願いたい。

(事務局)

報告書というのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められている点検評価の報告書のことと思うが、これについては毎年策定しており、議会へ報告をする必要がある。この3月議会で報告をさせていただくので、議会への報告が終われば、社会教育委員会においても報告をさせていただきたいと考えている。

(委員)

以前に藤澤委員から意見があった教育委員と社会教育委員の情報交換会について、他の自治体では行っているところもあるが、その後どのような感じか。

(事務局)

教育委員との意見交換会について、何か具体的に意見交換をしたいテーマがあれば行う必要性があるかと思うが、何か具体的なテーマがあって、こういった目的を持って交流をしたいんだということであれば、その事を先方に伝えた上で相手方のあることなので、成就するようであれば機会を持ちたいなど考えているところである。

(委員)

あまり難しく考えず、例えば、今このような課題があるということで、結論まで導くのではなく、木津川市として今何が課題なのか等をお話できたら良いのかなと思っている。その中で一つのテーマを決めて行う方が話し易いのであればテーマを決めれば良いし、テーマなしでも色々な話をして交流を持つことだけでも良いのではないかと思い、以前申し上げた次第である。

(事務局)

教育委員会の場合、教育長がトップになる。新年度になると委嘱式の際、教育長に出席していただくので、その機会にでも、まずは教育長とお話を設けるということでの調整させていただきたいと考えている。

④令和7年度社会教育課の主な予算について

資料を基に事務局より令和7年度社会教育課の主な予算について、説明を行った。

⑤令和7年度社会教育事業の予定について

前回の会議において概ね説明済みのため、説明省略

3.その他

委員においては、3月末で2年の任期が満了となることから、今回3名（中川委員、新谷委員、三谷委員）の委員が退任されることにより、各委員から退任の挨拶があった。

4.閉会

木村副委員長から閉会の挨拶があった。

以上

その他特記事項	なし
---------	----